

日常に小さな喜びを与える 人生を彩るスパイスの家

ふとした瞬間に小さな喜びや発見をもたらしてくれる家。福岡県古賀市に完成した大竹さん一家の住まいは、「暮らしにスパイスを加える」ことをテーマに建てられた。建築会社への要望はあえて細かくせず、信頼してすべてを任せたことで、プロの技と感性が詰まった住まいが誕生したのだ。

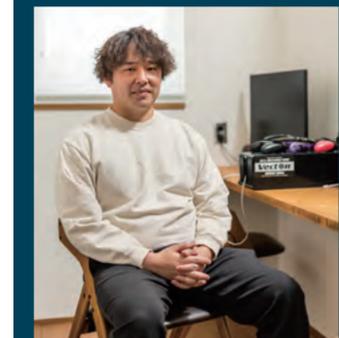
PHOTO & TEXT_Kazutoshi Akimoto 秋元一利
CONTACT_HOME&STORE DESIGN SONS
WEB_https://sons-builder.com



真っ白な外壁に合わせて、外構には沖縄の花ブロックを採用。窓は公道に面した部分を中心に上げ下げ式としたことで、欧米の住宅のような雰囲気仕立てている。

OWNER
TATSUHIKO OOTAKE
Instagram @otake127

2人目のお子さんができたことをきっかけに、マイホーム建築を計画し始めたという大竹辰彦さん。仕事を通じて知り合った「ホームアンドストアデザイン サンズ」の建築テストが好きで、「ほとんどお任せ」でマイホームが完成。その出来栄に「信頼してお願いで、本当に良かった」。



家を建てる際、多くの人は施工会社にあれこれと要望を出し、細部に至るまでこだわろうとする。しかし、ここで登場する大竹辰彦さん一家のように、「施工会社のセンスを信頼して任せる」という選択肢もあるようだ。大竹さんは福岡県古賀市を拠点とする「ホームアンドストアデザイン サンズ(以下サンズ)」に、夢のマイホームを託した。そ

の結果、プロの知識と経験が存分に発揮された家が完成したという。

大竹さんは在宅勤務の多いエンジニアで、奥様と2人の子とも暮らし4人家族。義理の祖父の土地を活用し、元々あった古屋を解体して新たに住まいを建てたそうだ。建築会社の「サンズ」とは、仕事を通じて以前からの付き合いがあり、そのデザイン

や姿勢に信頼を寄せていた。

「サンズ」は、施主の想いを汲み取り、期待を超える提案を得意とする建築会社。アメリカ西海岸風の住宅を得意としており、これまでも数多くの住宅や店舗を手掛けてきた。このため、大竹さんはこれまでに完成した建物をいくつも見てきており、マイホームの建築を任せることにしたという。

2023年に完成したその家は、40坪の敷地に建つ2LDKの木造住宅。テーマは「スパイスアップ」。暮らしの中で小さな発見や喜びを感じられる家を目指したという。間取りは2階に開放的なLDKと和室を配置。シンクを備えた大型バルコニーも設け、家族でのバーベキューや子どもの水遊びなど、外の時間を豊かにする工夫が光る。

内装はホワイトオークの床、アメリカ・シンプソン社製の内装ドア、真鍮のドアノブなど、経年変化が楽しめる素材を随所に採用。キッチンや造作棚はグラフテクト製で、洗練されたデザインと使い勝手が共存する。さらに、梁を一部露出させ天井のアクセントとするなど、意匠性にもこだわった。クロスは漆喰風で、落書きや汚れに強い素

材を選び、子育て世代に寄り添った仕様となっている。

プライベート空間は1階にまとめられ、将来の生活変化にも対応可能。もちろん、高気密高断熱仕様となっており、快適さも追求している。大竹さん一家にとって、人生を豊かに彩る「スパイス」の詰まった住まいとなったのである。



リビングなどの床はホワイトオークを使用。内壁は塗り壁仕上げのように見えるが、じつは壁紙仕上げ。



全体的に木質系のトーンを落とし、落ち着いた雰囲気に仕上げている大竹邸。ドアノブは真鍮製を使い、経年変化も楽しめるように工夫。



玄関ポーチとキッチンにはタイルを使用。コントラストの強いタイルをアクセントとして使うことで、全体を引き締めている。

JAPANESE ROOM

リビングと一体化するようにコンパクトな畳コーナーも配置。棚の下に空間を作ったことで、布団を敷けるようにしており、ローラーカーテンで仕切ること、客間としても利用できるように工夫されている。



LDK

LDKは白基調。梁は構造材を兼ねており、一部を表し仕上げとすることで、天井高も確保している。



WIC

1階は家族の個室が並ぶ。WIC（ウォークインクローゼット）はバスルームと繋がっており、逆側はマスターベッドルームへ。家事動線、生活動線にも配慮された設計になっている。



LDKはシンクを備えた大型のバルコニーにも繋がっている。バルコニーの半分ほどまで屋根を伸ばしたことで、天気が悪くても洗濯物を干したり、屋外で食事を楽しんだりすることもできる。



キッチンの脇にはパントリーとスタディコーナーを配置。ご主人の仕事や、子どもたちの宿題など、家族全員がひとつの空間で過ごせるように考えられている。建具にはアメリカのシン普森社製のものを使うことで、完成度を高めている。

KITCHEN

キッチンのカウンターや吊り下げ式の棚は、スタイリッシュなデザインが特徴的なGRAFTEKT（グラフテクト）社製。調理器具などもデザインを優先してセレクトしている。

